

[okazaki_180]

活動タイトル	ワットモニター出前授業
実施日	令和 8（2026）年 7 月 9 日（木） 10 時 25 分から 12 時 00 分まで
場所	江別市立大麻西小学校
対象数	小学校 5 年生 40 名
<テーマ・ねらい> 小学校 5 年生を対象に、総合の授業として、2 クラスで、それぞれ 45 分の「ゼロカーボンワットモニター出前授業」を行いました。この出前授業は、2017 年から江別市が、希望する学校に対して行っているものです。 <実施内容> 導入：夏日、真夏日、猛暑日、酷暑日について、尋ねた後、江別の最高気温について、クイズ形式で尋ね、猛暑日が、最近のことであることを知る。 ・2007 年から 2025 年までの異常気象を示した世界地図のスライドショーを投影し、気づいた事を児童が発表 ・地球温暖化の仕組みや二酸化炭素などについて質問し、児童が回答。 ・上記の補足説明し、ゼロカーボンにも触れる ・発電の説明 ・身近な家電の電力測定（1） 白熱電球、電球型蛍光灯ランプ、LED 電球の測定は、児童 3 人に、スイッチを入れたり、ワットモニターの表示を読んだり、電球の熱さを体感してもらったりして、それを他の児童に伝えてもらう。この 3 種類の電力の違いから時代が進むにつれて照明の省エネが進んでいることを実感する。 ・身近な家電の電力測定（2） ドライヤー、掃除機、テレビの電力測定は、事前に、電力の多い順を予想→児童にワットモニターの数字を読んで皆に伝えてもらい、順位を確認。画面の明るさや強弱の違いによる電力の違いや、使用時間による電気代を示すことで、使い方や使用時間によって、電力量、電気代が変わってくることに気づく。 ・振り返り 「へえ！と思ったこと、疑問に思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」をワークシートに記載 <配付資料> ワークシート、E・E・E こどもドリル（江別市環境副教材） <感想・課題> ・どちらのクラスも、グループでの話し合いが、しっかりできていました。 授業で触れた内容が印象に残ったようでタブレットやテレビの明るさを抑えるとの意見が多く見られました。 ・水道を使うことでも、CO2 が発生することに、びっくりした児童も多かったようです。 ・先生からは、「クイズや実験などもあり、大変学習になりました。ゼロカーボン、節電や待機電力への意識が高まったようです。教室のコンセントを抜かれました。(笑)」 「身の回りにあるものの電力について、実際に目で見ることによって理解することができまし	

た。クイズがあったり、グループワークがあったりと、全員で参加しながら学ぶことができたのが良かったです。教室に戻ってからも、『電気を消さなきゃ』と意識している様子が見られました。」という感想をいただきました。

- ・先生からの指摘にも「少し情報量が多い気がしました。」とありました。

最初の部分に時間がかかってしまい、話し合いの時間が短くなってしまいました。もう少し、内容を絞って、こどもたちの活動に時間が取れるように工夫する必要があると思いました。

実施写真

